

# うるま市 防災だより No.6 改定版

## 台風への備え ～自分で行う災害への備え～

台風は毎年大きな災害をもたらします。発生から警報発表までは時間がありますので、防災気象情報を利用して、被害を未然に防いだり、軽減することが可能です。テレビやラジオなどの気象情報に十分注意して、台風が近づいているというニュースや気象情報により、災害への備えをもう一度確認しましょう。



### 1. 家の外の備え

大雨が降る前、風が強くなる前に行いましょう。

- 窓や雨戸はしっかりとカギをかけ、必要に応じて補強する。
- 側溝や排水口は掃除して水はけを良くしておく。
- 風で飛ばされそうな物は飛ばないように固定したり、家の中へ入れておく。

### 2. 家の中の備え

#### ●非常用品の確認

- ・懐中電灯 ・携帯ラジオ（乾電池） ・医薬品 ・衣類 ・非常用食糧
- ・カセットコンロ、ボンベ ・貴重品など

#### ●室内からの安全対策

飛散防止フィルムなどを窓ガラスに貼ったり、万一の飛来物の飛び込みに備えてカーテンやブラインドをおろしておく。

#### ●水の確保

断水に備えて飲料水を確保するほか、浴槽に水を張るなど生活用水を確保する。

### 3. 避難の心得

- 倒壊や浸水、土砂崩れなどの不安がある方は最寄りの避難所（市役所本庁舎東棟・勝連地区公民館・石川地区公民館・平安座公民館）あるいは親類宅などへ、早めに避難しましょう。

- 避難する時は食糧、毛布、常備薬などは自分で用意しましょう。

- 強固な建物であれば建物内にとどまることがより安全です。

### 4. 不要不急な外出は避けましょう

- 台風時のケガの多くは、強風でドアに指を挟んだり、強風にあおられて転倒するなどです。また、雨が降っていなくても水路へ近付くことは大変危険です。特に高齢者や児童・幼年者の外出は避けましょう。

～津波てんでんこ（東北地方の防災標語）：自分の命は自分の責任で守れ！～